

あ と が き

北海道立衛生研究所報第 72 集をここにご報告致します。

当研究所は、道民の保健及び衛生の向上のため、食品、飲料水、医薬品の安全性評価、細菌、ウイルス等の分析や感染症情報の収集・解析による感染症対策、生活環境に関連する諸問題など幅広い分野で対応しております。本所報は、地域における科学的かつ技術的中核であることが求められる当所の研究活動の成果をまとめたものであり、令和 3 年度の内容を中心に構成されております。少しでも皆さまのお役に立てますと幸甚です。

新型コロナウイルス感染症が流行して 3 年が経過しました。終息までにはまだ時間を要する状況ですが、一方で世界中の研究者が本ウイルスと対峙し、その研究成果により私どもの生活も少しずつ変化しております。今後は、感染症のみならず、道民の健康に関する危機管理が益々重要性を増していくでしょう。道民の健康危機に対して迅速で正確な責任ある対応を遂行するためにも絶え間ない研究の実践は不可欠です。皆さまからの忌憚のないご意見とご助言をいただき、職員一同、より一層切磋琢磨して参りたいと存じます。

最後に、本所報の発行に際し、ご協力いただいた関係者の皆さま、所員各位、また、査読・校正にご尽力いただいた編集委員の皆さまに深く感謝申し上げます。

(藤谷記)

所 報 編 集 委 員

委員長	藤 谷 好 弘			
委 員	藤 本 啓	西 村 一 彦	山 野 公 明	
	森 本 洋	上 野 健 一		
校正委員	佐 藤 正 幸	藤 井 良 昭	小 川 恵 子	
	市 橋 大 山			
事 務 局	鈴 木 智 宏	柳 瀬 忍		